

病理診断科

a. 体制——当該年度の特徴・スタッフ 等

病理医は弓場主任部長と本庄部長の2人で診断業務を行った。いずれもベテランの病理医だが、勤務時間内にすべての業務を処理することはできず、過剰にならない程度の残業を余儀なくされた。半日単位で年次有給休暇は何度か取得できたが、連続休暇は取得できなかった。スタッフの増員が望まれる。

検査技師は河野技師と足羽技師が復職した。総数が前年度よりも一人少ない状態であったが、業務に支障を来すことは殆どなかった。残業は基本的になく、年次有給休暇も規定通り取得できたので、健全な職場環境といえる。

スタッフ

病理医

主任部長	弓場 吉哲
部長	本庄 原

臨床検査技師

仲村 佳世子	(係長・細胞検査士・特定化学物質作業主任者・ 作業環境測定士(第三号、第五号)・衛生工学衛生管理者)
西岡 千恵子	(主任・細胞検査士・二級臨床検査士(病理学)・有機溶剤作業主任者)
河野 孝志	(主任・細胞検査士・特定化学物質作業主任者)
足羽 彩加	(細胞検査士・二級臨床検査士(病理学)・有機溶剤作業主任者)
知念 優介	(細胞検査士・有機溶剤作業主任者)
中川 暉貴	(細胞検査士・特定化学物質作業主任者) 令和5年3月31日退職
兵頭 孝史	(特定化学物質作業主任者)
熊本 香月	(特定化学物質作業主任者)
中野 優子	

b. 診療実績——臨床統計 等

組織診断

総数 9453 件 (迅速 213 件)

所属	5 年度	
	件数	迅速 (件数内)
内科系診療科		
呼吸器センター 呼吸器内科	397	0

心臓センター	7	0
消化器センター 消化器内科	3450	0
神経センター 脳神経内科	0	0
腎臓内科	72	0
糖尿病内分泌内科	0	0
血液内科	592	0
リウマチ膠原病内科	3	0
小児科	15	1
神経精神科	0	0
化学療法センター（腫瘍内科）	0	0
緩和ケア科	0	0
初期診療科	0	0
救急部	2	0
腫瘍内科	2	0
外科系診療科		
呼吸器センター 呼吸器外科	168	21
心臓センター 心臓血管外科	34	0
消化器センター 消化器外科	518	26
神経センター 脳神経外科	162	71
泌尿器科	348	8
眼科	10	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	384	40
難聴・鼓膜再生センター	0	0
歯科口腔外科	39	0
小児外科	34	2
産婦人科	2034	28
乳腺外科	411	8
整形外科	30	0
皮膚科	394	0
形成外科	340	3
漏斗胸センター	0	0
その他診療科		
麻酔科	0	0
集中治療部	0	0
放射線診断科	0	0
放射線治療センター（腫瘍放射線科）	0	0

感染症科	0	0
健診部	7	0
診断依頼（標本持参）	(124)	(0)

細胞診検査

総数 8854 件

所属	5 年度
婦人科	4824
唾液腺	74
口腔	11
呼吸器	1042
消化器	258
泌尿器	1226
乳腺	191
甲状腺	271
体腔液	507
リンパ節	227
その他	223

電子顕微鏡検査

総数 16 件（2024 年 6 月 1 日以降は腎臓内科から提出に変更）

所属	5 年度
内科（腎生検）	16
心臓センター	0
病理	0

病理解剖

総数 9 体

内科・病理カンファレンス (CPC)

実施日	剖検番号	臨床診断	主治医	担当医
2023. 9. 28	AN3867	骨髄線維症、悪性リンパ腫	稲野先生	弓場
2024. 1. 18	AN3869	悪性リンパ腫	大島先生	本庄
2024. 5. 30	AN3871	急性骨髄性白血病	島田先生	本庄

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【論文】

(症例報告)

- 1 浅井麻由, 吉岡弓子, 水田結花, 小藺祐喜, 奥田亜紀子, 関山健太郎, 本庄 原, 樋口壽宏 診断に苦慮した外陰発生の粘液炎症性線維芽細胞肉腫 (myxoinflammatory fibroblastic sarcoma) の1例 産婦人科の進歩 2024 年 76 巻 1 号 p69-78 (査読有り)

【研究】

- 1 臍液細胞診の精度向上のための検討
(仲村佳世子、本庄原)
- 2 悪性中皮腫診断のための酵素抗体法パネルの検討
(本庄原)
- 3 EUS-FNA における細胞診と組織診との整合性について
(本庄原)
- 4 婦人科細胞診における LBC と従来法の比較検討
(西岡千恵子、仲村佳世子、本庄原)

d. クリニカルインディケーターの項目

剖検実施患者数 (2023 年 4 月から 2024 年 3 月) 9 体